

キリスト教委員会のHP(<http://rakuno-ce.org>)にアクセスして事前に聖書や讃美歌の確認をしましょう

現地の若者や子どもたちと戦争避難民の救済活動などを一緒に行ってきました。しかし、日本の若者たちや家族が訪れるようになって、現地の子どもたちに囲まれて感動して泣き出す様子を見るにつけて、日本の人々の心の貧困、生きる喜びと勇気の欠如を目の当たりにして、日本の人々に門戸を開いてこれからの20年間の活動を広げていくことに決心しました。現地での実体験に基づいて、お話の持つ生きる力、友情や隣人愛の持つ力について話していきたいと思っています。

【本日の奨励者】松居 友（まつい・とも）さん

本日の奨励者の松居 友さんは児童文学者・絵本作家であり、フィリピン・ミンダナオ図書館主宰として、フィリピンと日本の双方で活動しておられます。本学出身の西川求さん（財団法人北海道三愛畜産センター理事長）と国際交流課の横川容子さんを通して松居さんをご紹介いただき、本日の大学礼拝にお越しいただくことができました。感謝申し上げます。

【アドヴェント（待降節）】（ツリー、リース、ヒンメリの飾り）

教会暦では、12月2日（日）からアドヴェント（待降節）に入ります。アドヴェントはクリスマスまでの4週間程の期間を表し、クリスマスに備えつつ、クリスマスの到来を待つ季節です。毎週1本ずつローソクに火を灯し、4本のローソクの全てに火が灯るとクリスマスになります。本学では、教会暦より1週早くクリスマス礼拝を行いますので、それに伴い、すでにクリスマス・ツリー、アドヴェント・リース、ヒンメリの飾りを終え、通常より1週早く本日の礼拝より1本目のロウソクに火を灯しています。

【クリスマス・コンサート（礼拝）の案内】

今年のクリスマス・コンサート（礼拝）は12月18日です。当日は室内楽団・管弦楽団・合唱部・聖歌隊の有志のみなさんのご協力を得て、コンサート形式でクリスマス礼拝を行います。聖歌隊と一緒に歌ってくださる学生・教職員を募集しています。一緒にクリスマスを盛り上げてください。

【次回の大学礼拝】2018年12月4日（火）10時40分

次回の大学礼拝の奨励は、キリスト教学の高橋優子先生（獣医学類獣医倫理学研究室准教授）がご担当くださいます。ぜひ、ご出席ください。

【前回の大学礼拝】2018年11月20日

学生164名 教職員ほか8名 合計172名

【大学礼拝週報】 2018年度 第25号（後学期第10号）

2018年11月27日（火）午前10時40分

酪農学園大学 黒澤記念講堂

《大学礼拝》

司 式 小林昭博（宗 教 主 任）  
奏 楽 佐藤理恵（野幌教会会員）  
讃美指導 相原晴伴（循環農学類教員）

前 奏 「高きにいます神にのみ栄光あれ」（アーベル作曲）

讃美歌 讃美歌21 175番（わが心は）

聖 書 マルコによる福音 12章 28b-34節

祈 り

さんび

酪農学園大学聖歌隊

奨 励 「農業と文化が子どもを救う」

松居 友

報 告

讃美歌 讃美歌461番（主われを愛す）

後 奏 「主よ、我は汝により頼む」（パッヘルベル作曲）

【本日の聖書】マルコによる福音 12章 28b-34節

28b「あらゆる掟のうちで、どれが第一でしょうか。」29イエスはお答えになった。「第一の掟は、これである。『イスラエルよ、聞け、わたしたちの神である主は、唯一の主である。30心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くし、力を尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。』31第二の掟は、これである。『隣人を自分のように愛しなさい。』この二つにまさる掟はほかにない。」32律法学者はイエスに言った。「先生、おっしゃるとおりです。『神は唯一である。ほかに神はない』とおっしゃったのは、本当です。33そして、『心を尽くし、知恵を尽くし、力を尽くして神を愛し、また隣人を自分のように愛する』ということは、どんな焼き尽くす献げ物やいけにえよりも優れています。」34イエスは律法学者が適切な答えをしたのを見て、「あなたは、神の国から遠くない」と言われた。もはや、あえて質問する者はなかった。

【学生へのメッセージ】

読み語りと同時に、戦争や貧困による家庭崩壊した孤児たちを、奨学生として受け入れる場所としてミンダナオ子ども図書館を設立して17年。